学校のスタッフとして生き生きと働く！
～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 阿南東部共同学校事務室の取り組み

【背景と目標】 徳島県では、試行期間を経て、事務の共同実施「事務グループ制」を平成23年度から全県で実施してきた。令和2年度から「共同学校事務室」（加配あり）を徐々に増やし、現在6室37グループで共同実施している。

【協働・取組】 阿南市内は4グループに分かれているが、その内の1つだけが共同学校事務室の研究指定を受けた形となっている。市事務研として「例規班」「会計班」「公文書班」の3班の活動を継続してきたが、うち「例規班」（規定・様式等の改善）の担当となっている。「事務だより」を各グループ毎に担当月を決め、年11回市内全職員に配布している。

月2回の共同事務室会の開催。給与月例報告と旅費請求書の相互審査。年末調整関係書類の確認。給与関係提出書類の進捗状況確認。市会計関係事務の情報共有などに取り組んでいる。

【成果と課題】 事務の正確性の向上と、実務を通しての若手事務職員の育成、事務支援の場となっている。事務グループ時からの継続事項は定着しているが、「共同学校事務室」としての新たな活動はできていない。年々煩雑になる事務に対応するのが精一杯である。

市内4グループのうち1つだけが共同学校事務室になっているが、その差異はあまり出せていない。他グループの事務室長との考え方の違いにより、市内をすべて共同学校事務室にという要望がしにくい状況にある。

【教訓】 今後の取り組みをどのようにするのが良いか、悩んでいる。

- (参考例)
- ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
 - ② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
 - ③ 環境整備の実践
 - ④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
 - ⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	3	4	5
② 実践への周りの反応	1	2	3	4	5